

探鉱新技術分科会委員 各位

CC: 加藤進様、中山一夫様、

探鉱技術委員会事務局および石油技術協会事務局 御中

初秋の候、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第49回探鉱新技術分科会を下記の要領で開催しますのでご連絡いたします。

分科会委員の皆様には周辺の方々への周知と、分科会へのご出席をお願いいたします。

委員に限らず話題提供にご興味をお持ちの皆様も奮ってご参加下さい。

分科会に引き続き懇親会も計画しております。

分科会と懇親会、それぞれの出欠を【10月17日(水)】までに森田 (morita-s@aist.go.jp) までお知らせ下さい。

また、分科会委員の交代等ございましたら、その旨お知らせ下さい。

会場となりますサピアタワーのセキュリティ上、出席を希望される方は必ず事前にお知らせ下さいますようお願い致します。

記

第49回探鉱新技術分科会

日 時： 平成20年10月19日(金) 15:30～17:30

場 所： 石油資源開発株式会社 12階 1202会議室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー

(末尾地図を参照下さい)

電話 03-6268-7143 (国内事業本部)

講 師： 朝比奈 健太 氏

国研) 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

地圏資源環境研究部門 燃料資源地質研究グループ

話 題： 有機地球化学の新たな展開：バイオマーカーが欠落した試料の解析法と迅速解析法の提案

要 旨： ステランやホパンをはじめとするバイオマーカーは、オイルの起源有機物や熟成度、根源岩の堆積環境など石油探鉱において有用な情報を与えてくれる。しか

しながら、従来のバイオマーカー分析は、① 微生物分解や熱分解によりバイオマーカーが消失、② 分析には時間と労力・経験が必要、といった課題が存在する。講演者は、これらの課題に対して、様々な分解作用を受けたオイルの根源岩評価に有効な指標と、オイル試料の簡便かつ迅速な解析法を開発した。

分解作用を受けたオイルの根源岩評価法は、オイルに幅広く存在するメチル化ナフタレン類に着目した。ナフタレン類の組成比は、熟成度指標として利用されており、種々の分解作用に強い耐性を持つことから、起源有機物や根源岩の岩相評価にも有効ではないかと考えた。講演者は、オイル中のナフタレン類の起源として考えられている陸上高等植物由来のテルペノイドと、藻類由来のコレステロールの加熱分解実験を行い、加熱実験の生成物とオイル中のナフタレン組成を比較することで、ナフタレン組成を用いる起源有機物と根源岩の岩相評価法を確立した。

従来のバイオマーカー分析は、分離分画や濃縮などの前処理、長時間の測定時間と解析時間と労力が必要であった。そのため、簡便かつ迅速に試料の特徴を把握できる方法の開発が望まれる。講演者は、NMR プロファイリングを応用したオイルの迅速な特徴解析法を考案し、起源有機物や熟成、微生物分解の度合いなどの特徴を抽出できることを見出したので報告する。この分析に用いる NMR 分光分析法は、複雑な前処理を必要とせず、1 試料あたりの測定時間も 10 分程度であることから、簡便・迅速にオイルの特徴を解析できる画期的な方法である。

★入館方法（添付をご確認ください）

サピアタワー3階の総合受付にて入館手続きを行ってください。入館カードが渡されますので、12階エレベータホールまでお越し下さい。係りが案内します（入館カードでは会議室スペースに入ることができませんので、ご了承下さい）。到着が遅れた場合は、分科会委員の佐藤（080-1695-5964）まで直接ご連絡ください。12階エレベータホールから会議室までご案内します。

懇親会：17：45～

場 所：近隣の居酒屋を予定

以 上

探鉱新技術分科会 座長

国研）産業技術総合研究所	森田 澄人
石油資源開発（株）	佐藤 雅紀

石油資源開発株式会社(JAPEX)
 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー



JR「東京駅」日本橋口より徒歩30秒
 東京メトロ 丸の内線「東京駅」より徒歩1分
 東京メトロ 東西線、丸の内線、半蔵門線「大手町駅」B7出口より徒歩1分

サピアタワーへのご案内
 Guide map for SAPIA TOWER

